

第97回 福証IRフェア 会社説明資料



2019年9月3日

ロイヤルホールディングス株式会社

(証券コード：8179)

<https://www.royal-holdings.co.jp>

第1部 グループ概要

第2部 直近の業績（2019年12月期 第2四半期決算 概要）

第3部 中期経営計画：事業別取り組み

第4部 株主還元

第1部 グループ概要

第2部 直近の業績（2019年12月期 第2四半期決算 概要）

第3部 中期経営計画：事業別取り組み

第4部 株主還元

グループ概要 / ロイヤルグループの体制

..... < ロイヤルグループ >

1956年設立 資本金 13,676百万円 (2018年12月31日現在)
 小売業 福証/東証一部
 発行済株式数 39,554,189株 (2018年12月31日現在)
 単元株式数 100株
 決算 12月31日

持株会社
(親会社)

事業会社 (子会社)



<沿革>

- 1951年 創業
- 1953年 「ロイヤル中洲本店 (現 レストラン花の木)」を出店
- 1956年 ロイヤル(株)を設立
- 1969年 福岡市那珂に本社・工場が完成
- 1970年 大阪万博で出店
- 1971年 「ロイヤルホスト」1号店を北九州市黒崎に出店
- 1983年 東京証券取引所第一部に上場
- 1990年 事業給食1号店を出店
- 1995年 「ロイネットホテル(現 リッチモンドホテル)」1号店を出店
- 1998年 長野冬季オリンピックでレストランを運営受託
- 2004年 アールエヌティーホテルズ(株)を設立
- 2006年 (株)テン コーポレーション (天丼てんや)を子会社化
- 2012年 シルバーヘルスケア事業を開始

グループ概要 / 主な事業セグメント①

ROYAL

外食事業

売上高 617億円

経常利益 27億円

12月末総店舗数 571店

ロイヤルホスト

229店 (内FC14店)



天井てんや

224店 (内FC71店)



カウボーイ家族

30店



シェーキーズ

23店 (内FC11店)



Hospitality Restaurant
Royal Host



COWBOY 家族



天井てんや
TEMPURA TENDON TENYA
ASAKUSA TOKYO



Shakey's
PIZZA & SALAD



Royal Garden Cafe



pinkberry
Frozen yogurt



RB
Rose Bakery

※売上高・経常利益は2018年度通期実績

グループ概要 / 主な事業セグメント②

ROYAL

コントラクト事業

売上高 348億円

経常利益 15億円

12月末総店舗数 225店

空港ターミナル内 等

多様なレストランと売店を運営 **11**拠点

高速道路SA・PA内

多様なレストランと売店を運営(直営) **11**拠点

事業所内給食

一般企業、大規模展示場、病院、高齢者施設、官公庁、ゴルフ場、等における飲食の提供 **69**事業所

百貨店内レストラン

和洋中を中心としたレストラン、カフェ、ベーカリーショップの展開 **36**店



ソラテラス キッチン (福岡空港)



マリンコート (海ほたるパーキングエリア)



空港ターミナル内 レストラン・売店

千歳、仙台、成田、羽田、
関西国際、中部国際、
神戸、広島、
福岡、鹿児島、那覇
にて計48店舗を展開

高速道路SA・PA

米山、那須高原、上里、
羽生、駒寄、海ほたる、
掛川、古賀、和布刈、
川登、北熊本
にて展開

百貨店内、 事業所内給食等

計164店舗を展開

※売上高・経常利益は2018年度通期実績

機内食事業

売上高 84億円

経常利益 8億円

ロイヤルインフライトケイタリング

関西国際空港

福岡空港

那覇空港
2015年開設

ジャルロイヤルケータリング ※持分法適用会社

成田空港

羽田空港



ホテル事業

売上高 286億円

経常利益 42億円

「リッチモンドホテル」ブランドで全国
39ホテルを展開（直営）、
他1ホテルの運営支援・受託



リッチモンドホテル天神西通

2019年3月オープン



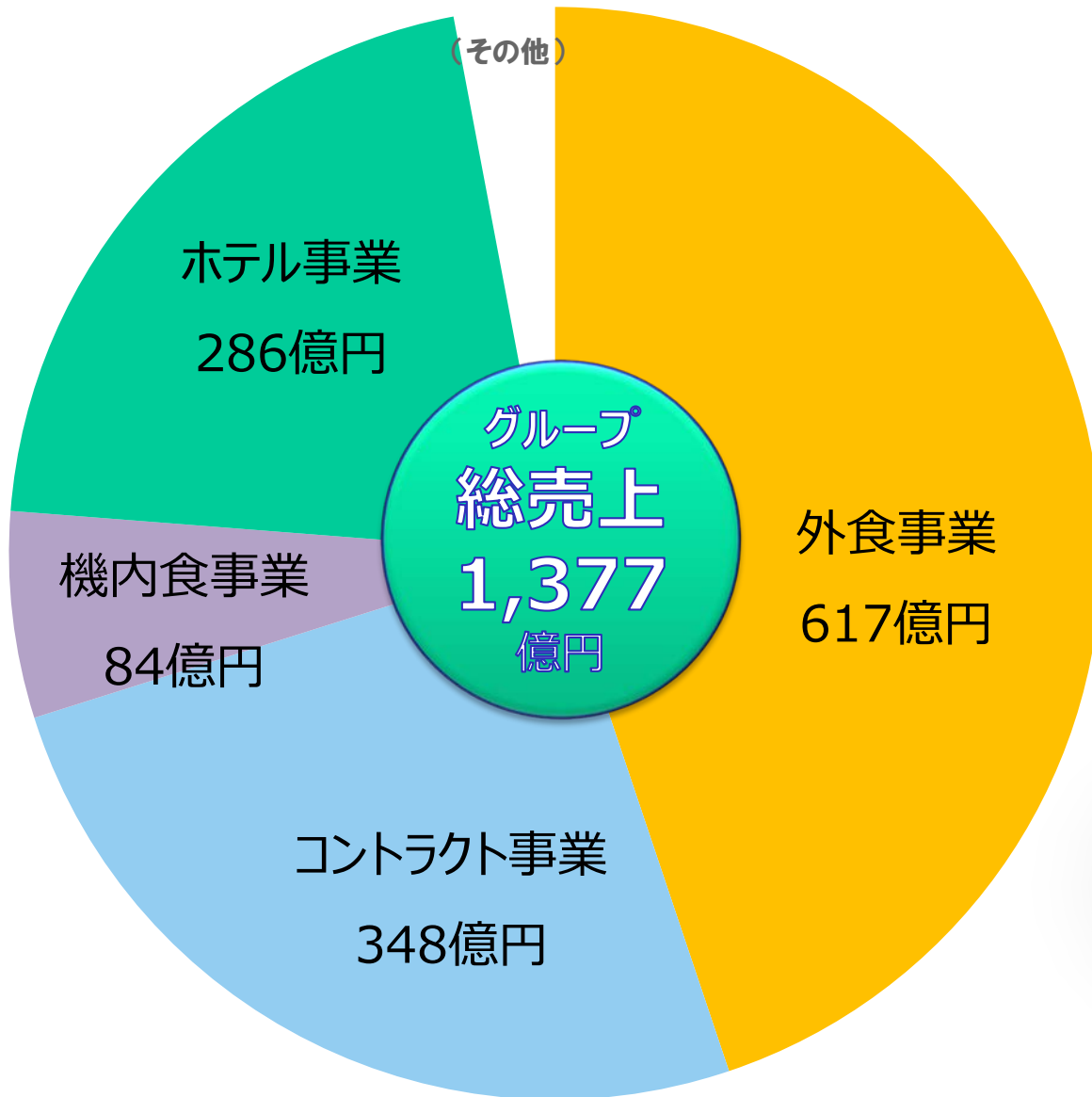
リッチモンドホテル
博多駅前



リッチモンドホテル
福岡天神

※売上高・経常利益は2018年度通期実績

2018年度セグメント別売上高



2018年12月末時点

グループ総店舗数

841店

売上・利益推移と主な経営指標



中期経営計画▶

「Fly to 2014」

「Fly to 2017」

「Beyond 2020」

「ロイヤルグループ経営ビジョン2020」

年	2010	2011	2012	2013	2014	2015	2016	2017	2018
経常利益率	1.9	2.0	2.4	3.1	3.7	3.9	3.9	4.5	4.2
ROA	2.7	2.8	3.6	4.8	5.7	5.8	5.6	6.3	5.9
ROE	2.1	△7.7	2.9	4.0	4.3	6.1	5.1	7.2	5.5

(%)

連結貸借対照表の概要

2018年12月期

単位：百万円
※百万円未満は切り捨て

<主な内訳>

流動資産

- ・現金及び預金 5,305
- ・売掛金 6,752
- など

固定資産

- ・建物及び構築物 15,119
- ・リース資産 20,071
- ・投資有価証券 9,975
- など

総資産 99,528	
流動資産 18,983	流動負債 17,742
固定資産 80,544	固定負債 30,660
	純資産 51,125

<主な内訳>

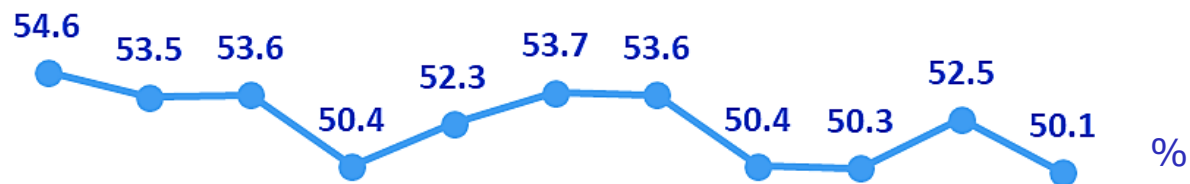
流動負債

- ・買掛金 3,912
- ・リース債務 1,461
- など

純資産

- ・利益剰余金 15,889
- など

自己資本比率 推移
(2008年～2018年)



第1部 グループ概要

第2部 直近の業績（2019年12月期 第2四半期決算 概要）

第3部 中期経営計画：事業別取り組み

第4部 株主還元

連結損益

前期からの出店等により増収
 増収により利益が増加するも、新店の開業費用増加・償却負担増加により減益

(単位：百万円)

	2018年12月期 第2四半期	2019年12月期 第2四半期	増減額	増減率	(参考) 業績予想
売上高	66,299	68,381	2,082	3.1%	68,300
営業利益	2,056	1,692	△364	△17.7%	1,730
経常利益	2,117	1,666	△450	△21.3%	1,700
親会社株主に帰属する 四半期純利益	1,092	754	△337	△30.9%	830
EBITDA	5,154	5,185	30	0.6%	—

※EBITDA = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + ネット支払利息

経営指標等（連結）の推移

(単位：百万円)

	2016年12月期		2017年12月期		2018年12月期		2019年12月期	
	第2四半期	増減率	第2四半期	増減率	第2四半期	増減率	第2四半期	増減率
売上高	64,246	3.5%	65,139	1.4%	66,299	1.8%	68,381	3.1%
営業利益 (%)	1,492 2.3	△7.2%	2,195 3.4	47.1%	2,056 3.1	△6.3%	1,692 2.5	▲17.7%
経常利益 (%)	1,541 2.4	△9.0%	2,308 3.5	49.8%	2,117 3.2	△8.3%	1,666 2.4	▲21.3%
親会社株主に帰属する 四半期純利益	583	△45.3%	1,381	136.5%	1,092	△20.9%	754	▲30.9%
総資産額	89,212	7.9%	93,046	4.3%	98,814	6.2%	101,256	2.5%
純資産額	45,563	△0.3%	49,153	7.9%	51,986	5.8%	50,417	▲3.0%

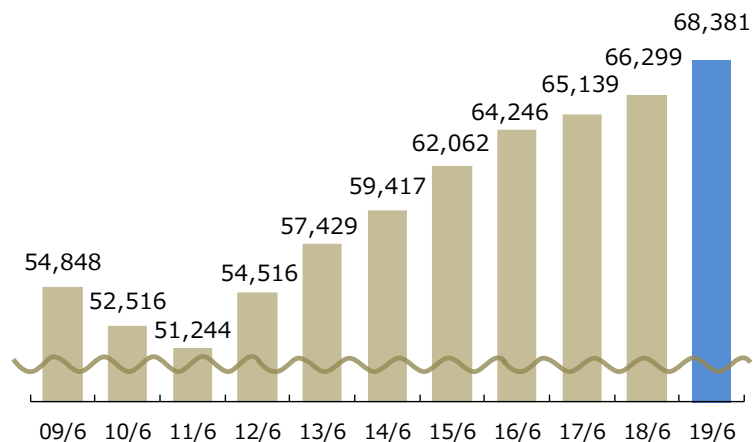
1株当たり 四半期純利益(円)	15.26	—	36.38	—	28.76	—	20.22	—
自己資本比率(%)	50.2	—	51.9	—	51.5	—	48.7	—

営業活動によるキャッシュ・フロー	3,742	4,319	3,292	4,815
投資活動によるキャッシュ・フロー	△3,244	△2,136	△3,021	▲3,603
財務活動によるキャッシュ・フロー	△1,211	△1,690	△2,701	▲2,588

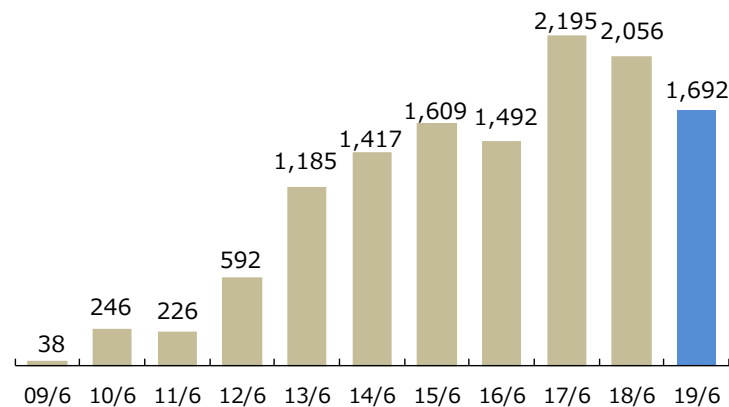
連結業績推移

(単位：百万円)

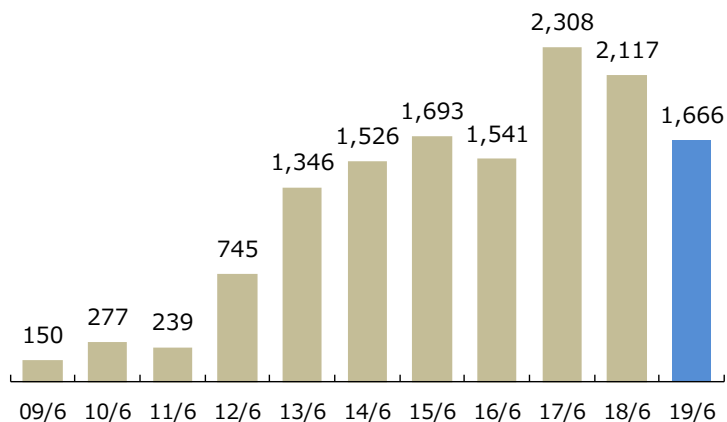
売上高



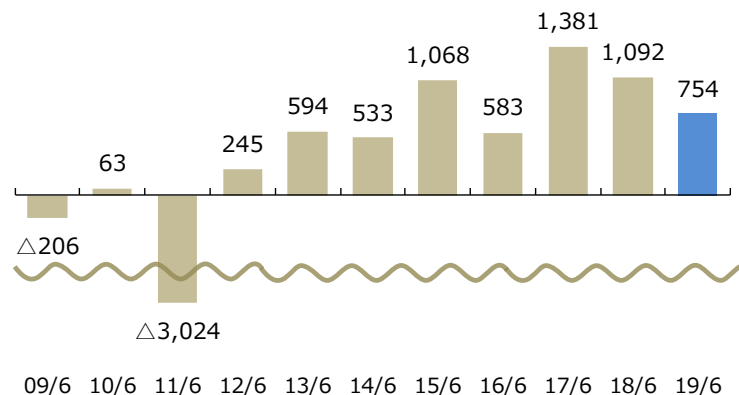
営業利益



経常利益



親会社株主に帰属する四半期純利益



セグメント別損益

(単位：百万円)

	2018年12月期 第2四半期			2019年12月期 第2四半期			増減額 (増減率%)	
	売上高	(占有%)	経常利益	売上高	(占有%)	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	30,213	(45.6)	1,294	30,617	(44.8)	1,020	404 (1.3)	△274 (△21.2)
コントラクト事業	16,743	(25.3)	666	17,069	(25.0)	606	325 (1.9)	△60 (△9.1)
機内食事業	4,221	(6.4)	470	4,688	(6.9)	527	467 (11.1)	56 (12.1)
ホテル事業	13,427	(20.3)	1,462	14,415	(21.1)	1,375	987 (7.4)	△86 (△5.9)
食品事業 その他事業	5,166	(7.8)	178	5,228	(7.6)	94	62 (1.2)	△83 (△46.8)
セグメント間相殺	△3,474	(-)	-	▲3,637	(-)	-	△163 (-)	- (-)
全社部門	-	(-)	△1,954	-	(-)	▲1,956	- (-)	△1 (-)
合計	66,299	(100.0)	2,117	68,381	(100.0)	1,666	2,082 (3.1)	△450 (△21.3)

セグメント別損益推移

(1)売上高

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2四半期	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	2019年12月期 第2四半期
外 食 事 業	30,487	30,297	30,213	30,617
コ ン ト ラ ク ト 事 業	16,089	16,378	16,743	17,069
機 内 食 事 業	3,958	4,124	4,221	4,688
ホ テ ル 事 業	11,835	12,677	13,427	14,415
食 品 事 業・そ の 他 事 業	5,227	5,020	5,166	5,228
セ グ メ ン ト 間 相 殺	△3,352	△3,358	△3,474	▲3,637
合 計	64,246	65,139	66,299	68,381

(2)経常利益

(単位：百万円)

	2016年12月期 第2四半期	2017年12月期 第2四半期	2018年12月期 第2四半期	2019年12月期 第2四半期
外 食 事 業	1,274	1,361	1,294	1,020
コ ン ト ラ ク ト 事 業	511	641	666	606
機 内 食 事 業	124	498	470	527
ホ テ ル 事 業	1,150	1,544	1,462	1,375
食 品 事 業・そ の 他 事 業	245	60	178	94
全 社 部 門	△1,764	△1,797	△1,954	▲1,956
合 計	1,541	2,308	2,117	1,666

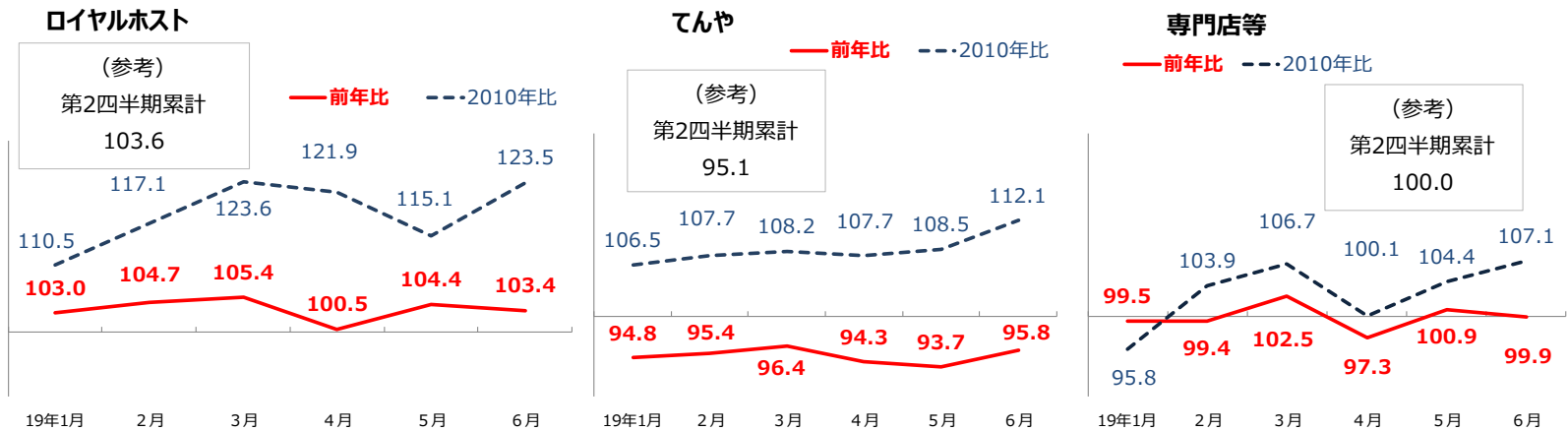
外食事業

前期からの出店やロイヤルホスト既存店の売上伸長により増収
 ロイヤルホスト既存店の増益があるも、レジ更新による償却負担増加や他の事業の利益率低下により減益

(単位：百万円)

	2018年12月期 第2四半期		2019年12月期 第2四半期		増減額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
外食事業	30,213	1,294	30,617	1,020	404	△274
ロイヤルホスト事業 (カウボーイ家族他含む)	18,644	1,055	19,063	941	418	△113
てんや事業	6,602	181	6,344	68	△257	△112
専門店等	4,966	58	5,209	9	243	△48

《 既存店売上前年（2010年）比 推移（%） 》



外食事業 主要業態の参考指標推移

【ロイヤルホスト直営店舗計】

店舗数（各四半期末）
売上高（億円）

2018年12月期				
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第3四半期 7月-9月	第4四半期 10月-12月	通期
216	215	215	215	215
82.8	82.6	91.1	82.6	339.1

2019年12月期		
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第2四半期累計 1月-6月
216	217	217
86.6	85.7	172.3

【ロイヤルホスト既存店前年比】

売上高
来客数
客単価

104.0%	103.7%	103.7%	101.4%	103.2%
97.1%	97.5%	98.0%	97.1%	97.4%
107.0%	106.3%	105.9%	104.4%	105.9%

104.4%	102.7%	103.6%
100.8%	99.2%	100.0%
103.6%	103.5%	103.6%

【てんや 直営店舗計】

店舗数（各四半期末）
売上高（億円）

2018年12月期				
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第3四半期 7月-9月	第4四半期 10月-12月	通期
153	153	152	152	152
32.3	32.6	31.1	32.9	128.9

2019年12月期		
第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第2四半期累計 1月-6月
152	150	150
30.5	30.4	60.9

【てんや既存店前年比】

売上高
来客数
客単価

99.7%	97.8%	94.0%	95.9%	96.8%
95.0%	92.1%	88.3%	88.9%	91.0%
105.0%	106.2%	106.4%	107.9%	106.4%

95.5%	94.6%	95.1%
92.4%	95.5%	93.9%
103.4%	99.1%	101.2%

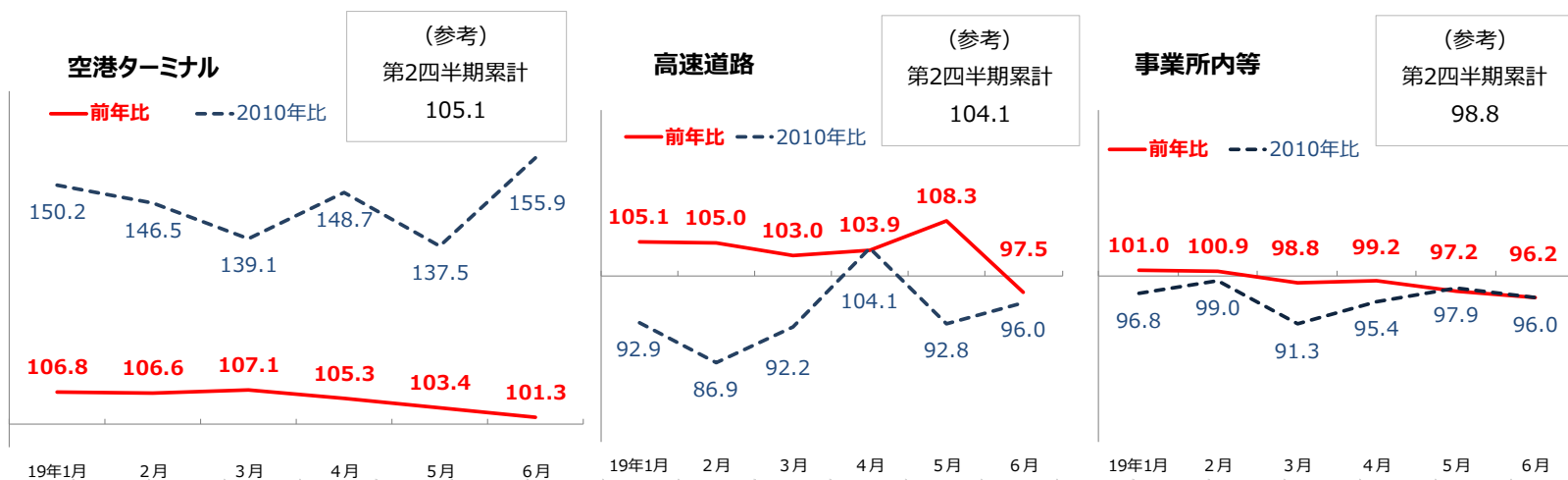
コントラクト事業

事業所内等の閉店による減収があるも、空港高速の売上伸長により増収
 事業所内等の利益率が向上するも、空港高速の新店開業費用・改装費用・その他コストの増加により減益

(単位：百万円)

	2018年12月期 第2四半期		2019年12月期 第2四半期		増減額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
コントラクト事業	16,743	666	17,069	606	325	△60
空港ターミナル・高速道路等	9,555	492	10,177	395	622	△97
事業所内等	7,188	174	6,891	210	△297	36

《 既存店売上前年（2010年）比 推移（％） 》



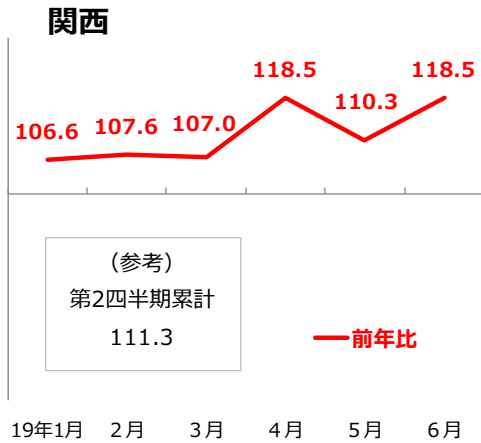
機内食事業

各拠点の売上が伸長し、増収増益

(単位：百万円)

	2018年12月期 第2四半期		2019年12月期 第2四半期		増減額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
機内食事業	4,221	470	4,688	527	467	56

《 売上前年比 推移 (%) 》



ホテル事業

前期からの新規ホテル開業により増収
当期3ホテルの開業費用発生により減益

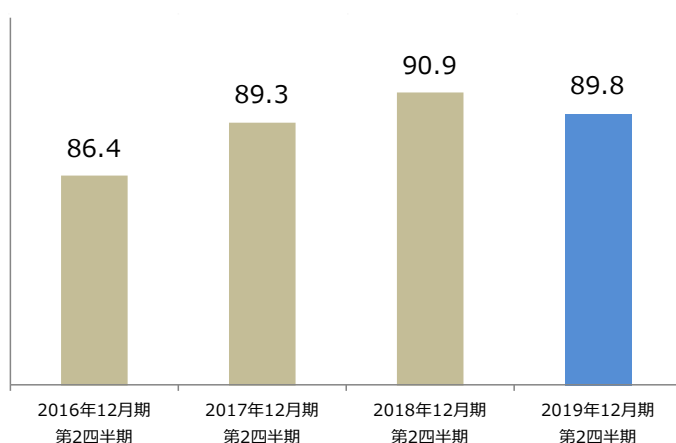
(単位：百万円)

ホ テ ル 事 業	2018年12月期 第2四半期		2019年12月期 第2四半期		増 減 額	
	売上高	経常利益	売上高	経常利益	売上高	経常利益
	13,427	1,462	14,415	1,375	987	△86

【リッチモンドホテル 直営のみ】

	2018年12月期					2019年12月期			
	第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第3四半期 7月-9月	第4四半期 10月-12月	通期	第1四半期 1月-3月	第2四半期 4月-6月	第2四半期累計 1月-6月	
	店舗数(各四半期末)	38	39	39	39	39	40	41	41
	各期末客室数(室)	7,677	7,893	7,891	7,890	7,890	8,110	8,317	8,317
	直営ホテル客室稼働率	89.9%	91.8%	93.5%	92.8%	92.0%	89.8%	89.9%	89.8%

《 客室稼働率推移 》



Richmond Hotels リッチモンドホテルズ



2019年3月22日開業
リッチモンドホテル
天神西通



2019年5月1日開業
リッチモンドホテル
プレミア京都駅前

2019年12月期 連結業績予想

(単位：百万円)

	2018年 12月期	2019年12月期 予想	増減額	増減率
売上高	137,701	143,000	5,299	3.8%
営業利益	5,709	6,300	591	10.3%
経常利益	5,765	6,200	435	7.5%
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,791	3,000	209	7.5%

1株当たり 当期純利益(円)	73.71	80.38	6.67	9.0%
E B I T D A	12,229	13,900	1,671	13.7%
R O A	5.9%	6.0%	0.1%	-%

※ E B I T D A = 経常利益 + 減価償却費 + のれん償却額 + 支払利息 (ネット)

※ R O A = 経常利益 ÷ 総資産 (平均)

1株当たり配当金	28円	※1) 29円	1円	-%
----------	-----	---------	----	----

※1) 2020年に向けて配当性向を段階的に40%目安に引き上げる方針

第1部 グループ概要

第2部 直近の業績（2019年12月期 第2四半期決算 概要）

第3部 **中期経営計画：事業別取り組み**

第4部 株主還元

ロイヤルグループ経営ビジョン2020

2010年9月策定

グループビジョン

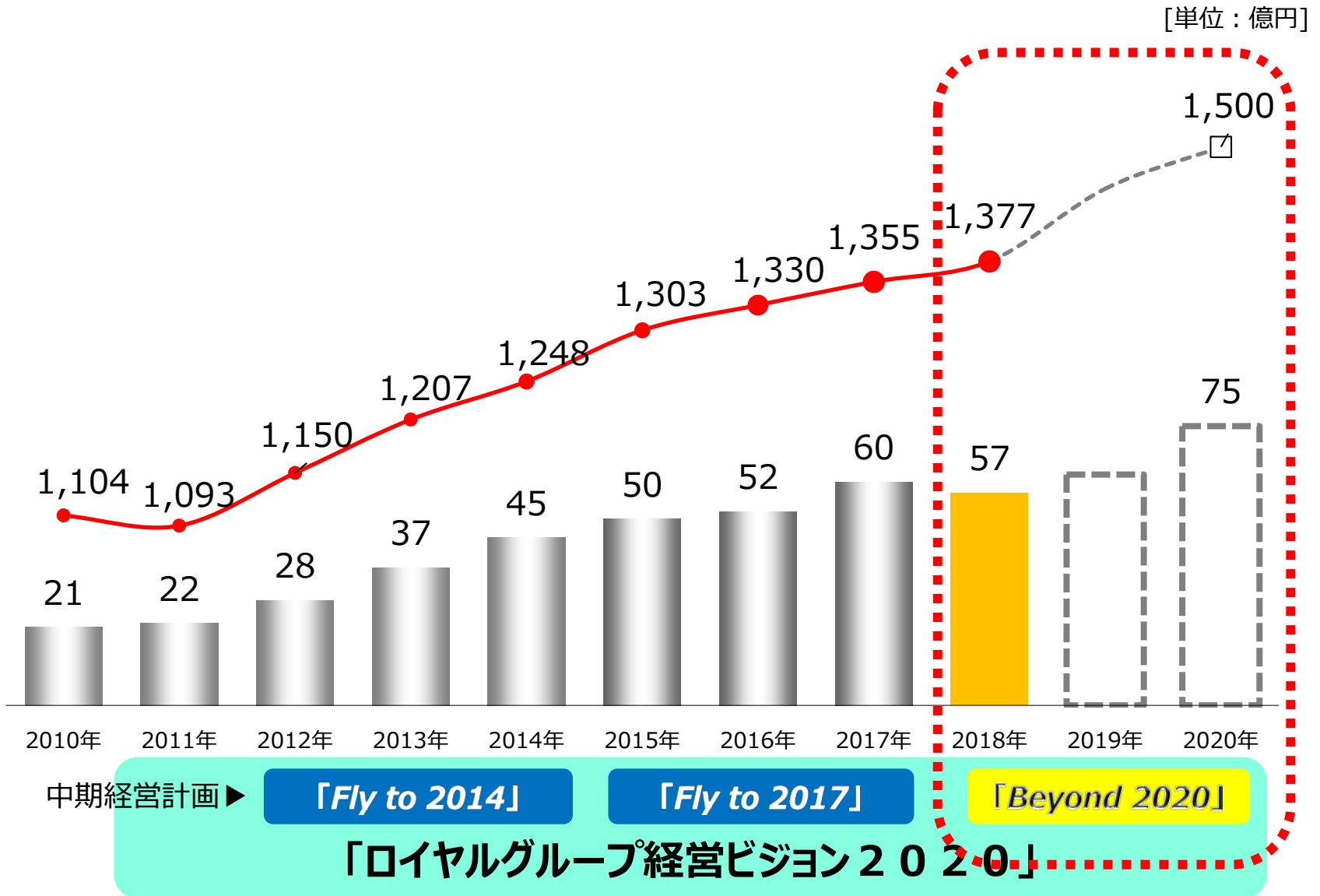
「お客様の満足」を最大の目標とし
時代の変化にしなやかに対応する

**日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループ
を目指す**

目指すべき姿

- ◇ ロイヤル経営基本理念を実践し
日本で一番質の高い“食” & “ホスピタリティ”グループ
- ◇ 新たなビジネスモデルの創造により増収増益を視野に入れた
持続的に成長する総合飲食企業のリーディングカンパニー
- ◇ 食の安全・安心を第一に企業の社会的責任を誠実に果たし
全てのステークホルダーに支持される企業グループ
- ◇ 誇りをもって働ける企業グループ

経営ビジョン2020における売上・利益推移



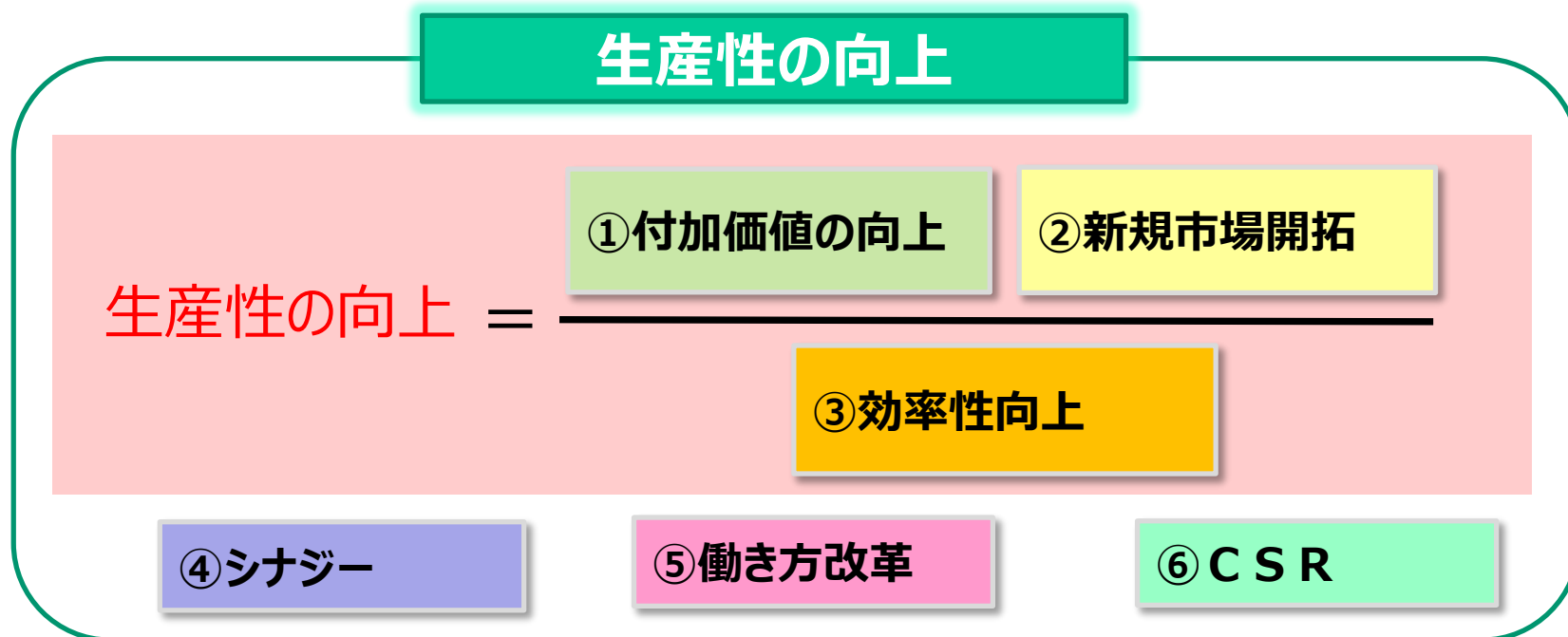
※2010-18年実績、2019年以降計画

生産性の向上

➤ 新中期経営計画期間（2018年～2020年）の主な経営環境変化



“食” & “ホスピタリティ”カンパニーとして対応



更なる成長に向けて「6つのテーマ」

新中期経営計画（18年～20年）

生産性向上	①付加価値の向上	食とホスピタリティの追求	あるべきビジネスモデルの姿	既存店投資	
	②新規市場開拓	既存業態出店	ハラル・冷凍ミール	海外展開拡大	M & A
		F Cビジネス拡大		新業態開発	
	③効率性向上	機内食・工場投資		R & D強化	効率化のための投資
	④シナジー	グループ内シナジー	他社との協調 (物流・購買等)		
	⑤働き方改革	人材採用 健康経営	ダイバーシティ 労働環境整備		
⑥CSR	社会貢献	地域になくてはならない店づくり			

* 2020年以降を見据えた成長・生産性向上の投資を積極的に実施

ロイヤルホスト

— 付加価値向上・効率性の向上 —

- ◆ 高付加価値提供が可能なペースでの出店
- ◆ 高付加価値メニュー（フェアメニュー）の継続
- ◆ 既存店改装でのバリューアップ（23店舗実施）
- ◆ 効率化の推進（POSレジ入れ替えなどによる効果）

〈出店〉

天神西通り店（3月オープン）



新横浜駅ビル店（6月オープン）



〈メニュー〉

高付加価値の提供

ボストンフェア

5月15日～2019年7月上旬



〈改装によるバリューアップ例〉

ロイヤルビバレッジカウンター



導入後の売上高既存店前年比：
通常店舗の約4%プラスで推移

〈POSレジ入れ替え〉

ロイヤルホスト全店導入完了
レジ締めなど現金管理業務

1時間／日削減

事業別取り組み：外食事業

天丼てんや

－ 付加価値向上・新規市場開拓・効率性向上－

＜付加価値向上＞

商品戦略

- ・食材の品質向上（米・そば・みそ汁）
- ・顧客ニーズに応えたメニュー、サービス（定食のごはん「お替わり無料」など）
- ・旬の食材、人気食材メニュー（穴子、うなぎ／月替わり旬の単品など）



郊外型店舗の新メニュー展開

ファミリー向けにバラエティある商品構成へ

- ・ミニ丼・麺
- ・単品麺（そば/うどん）
- ・丼と同価格の定食スタイル「天ぷら飯」などの導入



配達代行の実施店舗拡大

2019年6月末現在

「出前館」(配達代行)

直営**66**店舗で実施

今後(2019年下期)

新たに「Uber Eats」での取り扱いを開始予定

天丼てんや

— 付加価値向上・新規市場開拓・効率性向上 —

<効率性向上>

券売機店舗

2019年度
3店舗予定



導入後

- ・1日当たり労働時間 Δ 4.5時間 (Δ 7%)
- ・人件費 月間 Δ 2%

今後、60店舗まで導入予定

フルセルフ店舗

2019年度
4店舗予定



導入後

- ・1日当たり労働時間 Δ 16時間 (Δ 27%)
- ・人件費 月間 Δ 7%

立地、客層に合わせ展開を検討

<新規市場開拓>

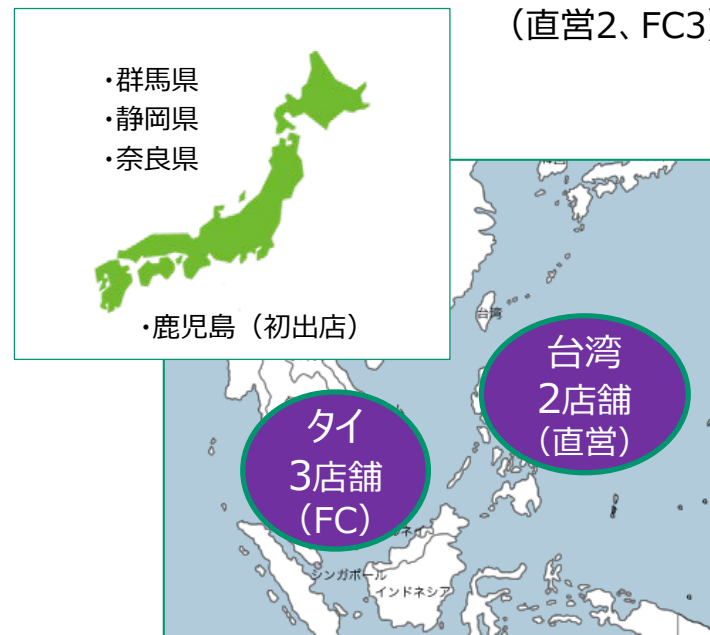
2019年6月末現在

◆新規出店 日本国内 4店舗

(FC店舗)

海外 5店舗

(直営2、FC3)



◆総店舗数 230店舗

日本国内 206店舗 (うちFC56店舗)

海外 24店舗 (うちFC21店舗)

事業別取り組み：外食事業

専門店

- ◆ブランド価値を高める堅実な出店
- ◆主要チェーン業態の売上増
- ◆既存ブランドの付加価値向上

＜出店＞

シズラー 東京国際フォーラム店

(4月オープン)

アジア地域のシズラーで最大級の210席

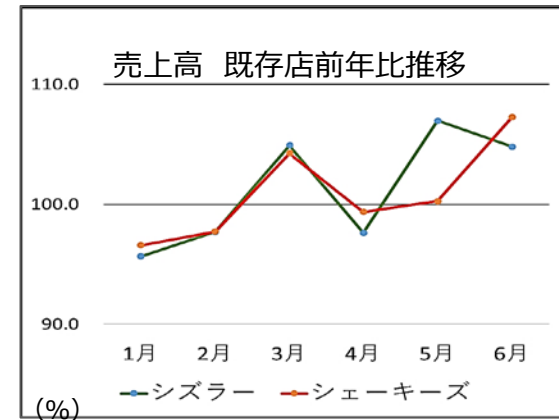


計画比110%超で推移



－ 付加価値向上・新規市場開拓 －

＜主要チェーン業態の売上増＞
 サラダバー、バイキングコーナーの充実など
 メニュー改定での価格見直し



＜既存ブランドの付加価値向上＞

フレンチ専門店「レストラン花の木」
 「ミシュランガイド福岡・佐賀・長崎 2019 特別版」

1つ星掲載



事業別取り組み：コントラクト事業

空港・高速道路店舗

— 新規市場開拓・付加価値向上 —

◆新規出店

高速道路

富士川サービスエリア フードコート (4月オープン)
(東名高速道路 富士川サービスエリア上り線)



空港

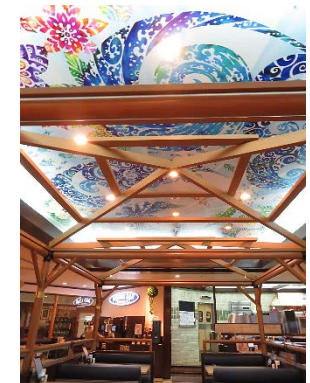
ピンクベリー那覇空港店 (3月オープン)
(那覇空港内)



◆改装による付加価値向上

ドリンクバー導入、レジ入れ替えなど

ロイヤルコーヒーショップ
那覇空港店



ロイヤルコーヒーショップ
広島空港店



事業別取り組み：機内食事業

3拠点（関西・福岡・沖縄）

－ 付加価値向上・新規市場開拓 －

◆各拠点での売上伸長

- ・インバウンド増、旅客数増をとらえた受注拡大、新規獲得
- ・海外向け食材販売の取り組み

和食メニューを提案し調味料・食材を輸出
商品の使用方法やメニュー設計までの支援を行い
販路の拡大を目指す



◆外部からの評価

2019年6月末現在

キャセイパシフィック航空

「Caterers' Performance Recognition Program」にて3拠点同時に受賞

プラチナ賞：関西工場

金賞：関西工場

銀賞：福岡工場

衛生優秀賞：沖縄工場

プラチナ賞：長・中短距離路線全86拠点において1位

金・銀賞：安全・品質・顧客満足・食品衛生・機用品管理・お客様アンケート・監査結果・ケータリングマネージャーのフィードバックなどでの評価

衛生優秀賞：衛生監査の結果が良く、異物混入などがないことが評価

事業別取り組み：ホテル事業

リッチモンドホテル

— 付加価値向上・新規市場開拓 —

◆ブランド価値の向上

- ・既存店の改装（2019年：2店舗）
- ・顧客満足度向上への取り組み

改装改修、設備備品の更新をタイムリーに実施し居住性の良さを維持
利用顧客との接点での接遇の評価をさらに高める取り組み

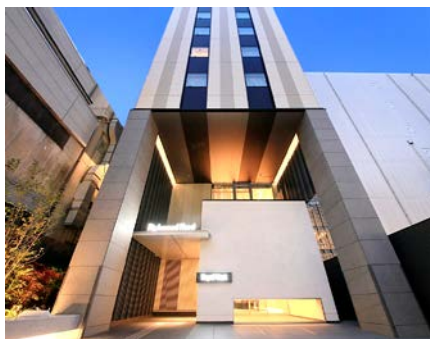


◆計画に基づく厳選した出店を継続

- ・中期経営計画（2018-2020年）：直営5店出店

観光・レジャー利用の取り込みに対応し、従来よりツイン比率を上げた客室構成

2019年：3店
(直営2店、FC1店)



リッチモンドホテル
天神西通

伝統工芸「博多織」のイメージをデザインに取り入れ、安らぎを感じる非日常的な空間を演出。1階にロイヤルホスト



リッチモンドホテルプレミア
京都駅前

京都初出店。
「和」・四季を感じさせるアートを取り入れ、京都らしい華やかさを演出



京成リッチモンドホテル
門前仲町

(京成電鉄(株)との合併会社にて運営)
新宿・大手町へのアクセスも良く、
下町情緒を感じる立地

2017年

2018年

2019年 (6月現在)

R&D店舗

イノベーション



<次世代店舗運営の実験>

- キャッシュレス
 - セルフオーダー
 - ペーパーレス
 - 新厨房機器 (マイクロウェーブコンベクションオープン)
 - 掃除ロボット
- ➔
- セルフテーブル決済
 - 新厨房機器 (マイクロウェーブ解凍機)



大は戸てんや

- キャッシュレス
- ペーパーレス

とんかつおりべ

- キャッシュレス
にも対応した券売機

Hospitality Restaurant

Royal Host

- 掃除ロボット

コントラクト店舗

- 新厨房機器

Hospitality Restaurant

Royal Host

- 新POSレジ導入
- セルフオーダー
※一部店舗

CAFE
by Royal Garden Cafe

- セルフオーダー

Shakey's
Pizza Parlor

- 事前オーダー

Hospitality Restaurant

Royal Host

- 新POSレジ全店稼働
- キッチンディスプレイ
※一部でテスト実施

天丼てんや
TEMPURA TENDON TENYA
AMERICA TOKYO

- キッチンディスプレイ
※一部で導入開始

- フローズンミール販売 (自社工場製冷凍食品)
ロイヤルホスト(75店舗)、一部の専門店での販売
ハラルミール販売の拡大



All meals are halal certified by Japan Islamic Trust (宗教法人 日本イスラーム文化センター)

CSR活動の推進

地域になくてはならない店づくりのもと
 “食” & “ホスピタリティ”、“人”にかかわる社会貢献活動を推進

<環境>

◆プラスチックストロー提供中止

「2020年中にグループ直営全店で
 原則、提供中止」

- ・2018年11月～ グループ9店で実施
- ・2019年 4月～ 同306店で実施
 6ブランド（ロイヤルホスト、カウボーイ家族、
 シズラー、シェーキーズ、ロイヤルガーデンカフェ、
 リッチモンドホテル）

◆「EARTH HOUR」参画

2019年3月
 WWF(世界自然保護基金)が推進する、
 世界規模の環境プロジェクト
 「EARTH HOUR2019」に参画

<地域社会・次世代育成>

◆キャリア教育補助教材提供および出張授業の実施

- ・小学校向け教材の配付
- ・学校へのお出張授業9校で実施

◆こども食堂ボランティア

◆産地体験活動

- ・産地での収穫体験（2019年7回実施予定）

◆復興支援

- ・被災地での炊き出しなどに対応可能な**フードトラック**の運用開始



第1部 グループ概要

第2部 直近の業績（2019年12月期 第2四半期決算 概要）

第3部 中期経営計画：事業別取り組み

第4部 株主還元

株主還元 / 配当金と配当性向

(百万円)	2014年	2015年	2016年	2017年	2018年	2019年 (予想)
売上高	124,857	130,327	133,025	135,563	137,701	143,000
経常利益	4,579	5,021	5,205	6,056	5,765	6,200
当期純利益	1,866	2,728	2,377	3,533	2,791	3,000
配当金 (1株当たり)	16円	20円	20円	26円	28円	29円
配当性向	33.1%	28.3%	32.2%	27.9%	38.0%	36.1%

第5次中期経営計画

2020年に向けて配当性向を段階的に40%を目安に引き上げる

株主還元 / 株主優待制度

6月末の株主様には9月中旬に、12月末の株主様には3月下旬にそれぞれ、
株式数に応じて「株主ご優待券」をご送付

＜ 株主ご優待券 ＞

100株以上500株未満	年間 1,000円分 (500円 × 1枚 × 2回)
500株以上1,000株未満	年間10,000円分 (500円 × 10枚 × 2回)
1,000株以上	年間24,000円分 (500円 × 24枚 × 2回)

すべて税込金額

1枚につき、支払い総額（税込価格）500円分の
飲食代金、商品ご購入代金および当社グループホテルの宿泊代金に
ご利用可能



ご利用方法など、詳しくはホームページをご覧ください

<https://www.royal-holdings.co.jp/ir/index.html> (ロイヤルホールディングス株式会社 IR情報)



増収増益の継続 = 持続的成長の実現

ROYAL